

・概要

【簡易合併参照設定】とは、複数の会社マスター（支店マスター等）を合算して参照出力が可能な会社マスターです。

【管理者業務】 - 【簡易合併参照設定】画面から**初期設定**と**年次更新**を行います。

この設定は、データベース上に保存されている会社マスターの残高及び仕訳データの合併処理を行なうにあたって、会社マスターの関連付けを行なう処理です。

例) 001 本社マスター + 002 大阪支店マスター + 300 九州支店マスター = 999 全社マスター  
残高、仕訳データ共に既存会社マスターのデータを一時的に集約しての参照出力処理となっております。  
作成された合併マスターは、WEB上では【簡易合併マスター】は朱色[赤色]の画面になります。  
入力修正機能はありません。(合算された合併マスターで数字が変わることは絶対にありません)

・こんな時に利用します

複数の会社マスターを合算させて試算表や元帳、決算書などの参照出力を行いたい

子会社間の取引を入力する際、通常のマスタとは別に、相殺用の会社マスターとして利用し、合算させたい  
枝番コードを部門コードへ変換して参照出力したい（1つまたは複数の会社マスターでも両方設定可能です）  
支店や営業所で使っている会社マスターのコードを、合併マスター側では部門コードとして参照出力したい

・この画面の次によく使う機能として

【管理者業務】 - 【会社毎の設定を変更する】 - 【アプリケーション制約設定】 →各メニューの表示不可の設定可  
【管理者業務】 - 【BSPL テンプレート設定投入】 →合併マスターから出力する場合は翌期更新処理を実施する  
WEBシステム上の【仕訳条件検索】【集計表】【自動試算表】【推移表】【三期比較】【部門管理実績表】等

設定後、合併マスターを参照出力する場合

合併画面のみのメニュー[http://192.168.2.xxx/webzaimu\\_gp/](http://192.168.2.xxx/webzaimu_gp/)

通常マスターと合併マスターが選択できるメニュー<http://192.168.2.xxx/menu.html/>

操作は、通常ของบริษัทマスター操作と同じです。

ログイン(ユーザー選択)

部署選択 (全部署) ▼  
名前 鈴木 ▼  
パスワード   
ログイン

クライアントPC用プログラムのダウンロード

財務システム:メインメニュー [700:合併テストマスタ]

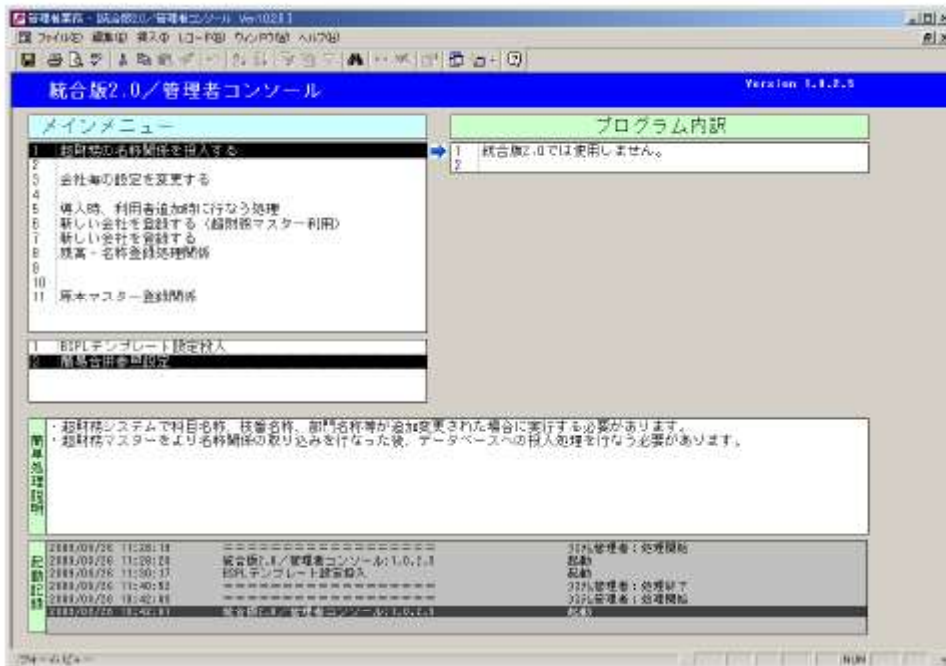
ユーザー名:鈴木

帳表出力① 帳表出力② 消費税関係 部門別管理 キャッシュフロー

1 仕訳条件検索	9 元帳	17 集計決算速報
2 日別集計表	10	18
3 集計表	11 比較貸借推移表	19
4 枝番集計表	12 比較損益推移表	20 振替伝票
5	13 製造原価推移表	21
6	14 三期比較貸借対照表	22

【超財務 SUPERA 統合版 4.0】

簡易合併参照設定 【管理者業務】を開いて設定します。



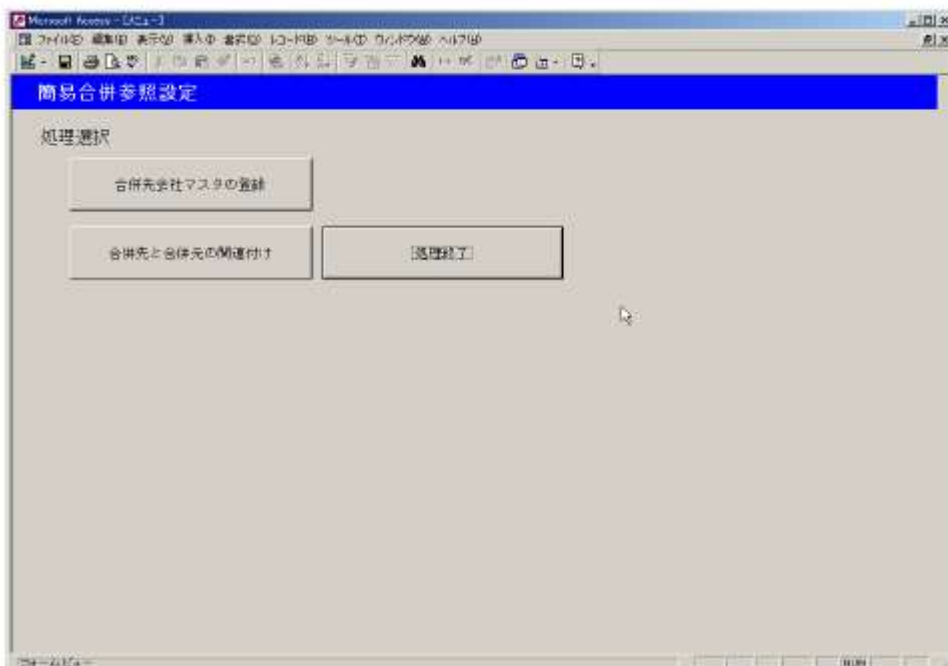
システム管理者でログインした後、メインメニュー下の簡易合併参照設定をダブルクリックして起動します。

#### 簡易合併処理の仕様)

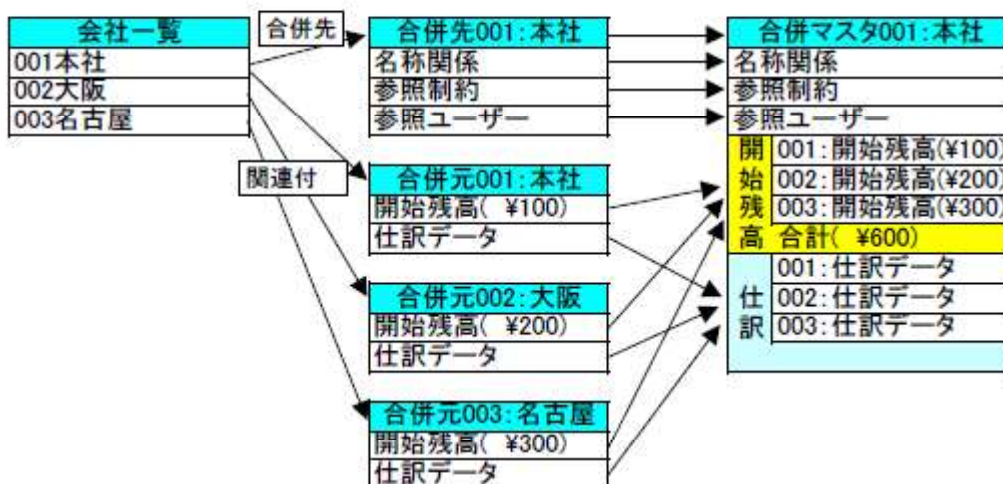
簡易合併処理は、合併先で設定された会社の名称・参照制約を使用して合併元として設定された会社の科目・枝番・部門・プロジェクトの残高を集計し、仕訳データは仮想表上でまとめて(データの移動はありません)出力するシステムです。下記の条件で処理するようになっています。

- ① 合併元は同一の決算期間を持つ会社を設定して下さい。
- ② 科目残高・枝番残高等の開始残高は、合併元の開始残高を科目・科目枝番等のコードで合算して作成します。
- ③ 参照制約等の機能合併先として登録された参照制約を用いますので、枝番参照や仕訳検索を行なう場合には、合併先のマスターの枝番コード等は合併元の枝番コードを網羅する必要があります。
- ④ 科目残高のみ合併して試算表等出力する場合には枝番等の整備は不要です。
- ⑤ 開始残高についてはすべての会社の残高を合併しますので、開始残高は特定のマスターで仕訳データも特定のマスターからといった合併処理はできません。(注意)

簡易合併参照設定 メニュー画面



- ①合併先会社マスタの登録 登録されている会社マスタより合併先のマスタを選択して合併先会社マスタとして登録します。
- ②合併先と合併元の関連付け 合併先マスタとして登録されたマスタの決算期に対してその会社の指定決算期を合併するか指定します。
- ①合併先会社マスタの登録 登録されている会社マスタより合併先のマスタを選択して合併先会社マスタとして登録します。
- ②合併先と合併元の関連付け 合併先マスタとして登録されたマスタの決算期に対してその会社の指定決算期を合併するか指定します。



合併マスタのコードと名称: 001:本社 (設定時に名称変更は可能です)  
 開始残高は、001,002,003の残高が合併して合併マスタの開始残高として処理されます。  
 仕訳データは、001,002,003の仕訳データを合併マスタの仕訳として処理します。  
 参照制約や、利用者情報などは、001:本社の設定を参照します。

簡易合併参照設定 合併先会社マスターの登録



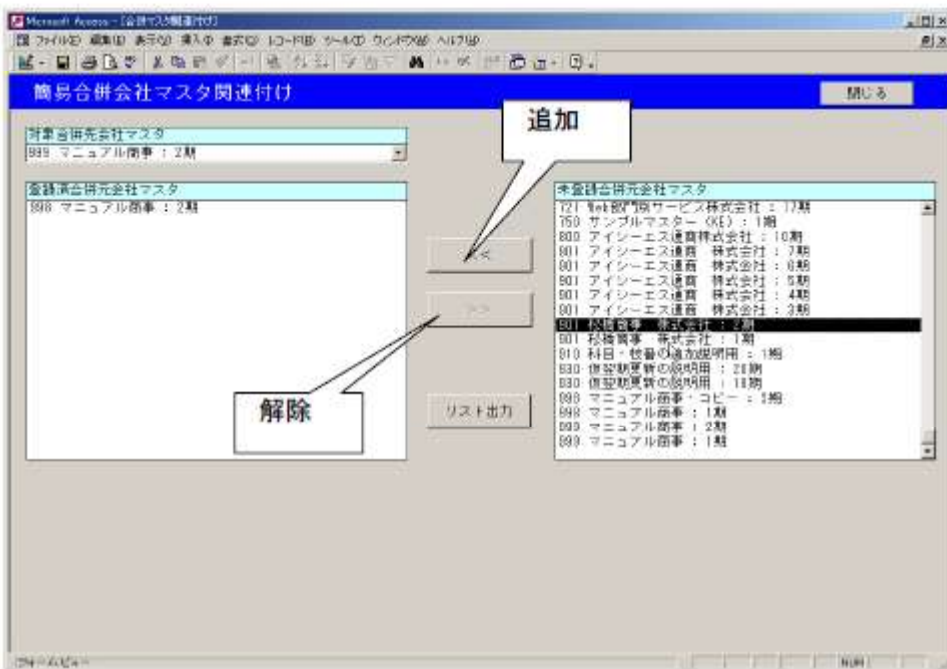
対象合併先会社マスターリストより合併先となるマスタを選択し追加ボタンをクリックします。



合併先会社マスターに登録されている会社名をそのまま利用する場合には上記の状態で構いません。

実際に登録されている会社名称とは異なる会社名称を使用する場合には、合併時に会社名称を入力して更新ボタンをクリックします。

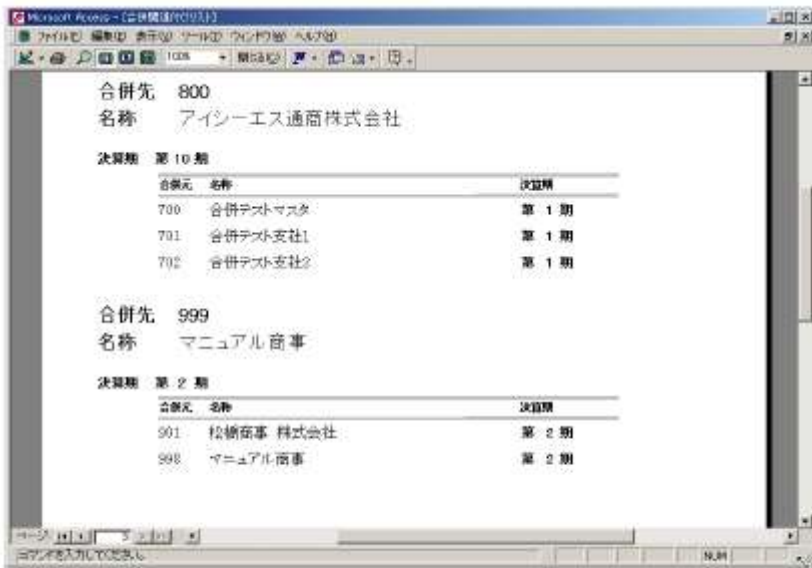
簡易合併参照設定 合併先と合併元の関連付け



未登録合併元会社マスタリストより対象合併先会社マスタに設定する会社(決算期)を選択し、追加ボタン<<>をクリックして合併先会社マスタの設定を完了します。

この処理は毎月に設定が必要ですので、仮翌期更新時には設定を行なうようにしてください。

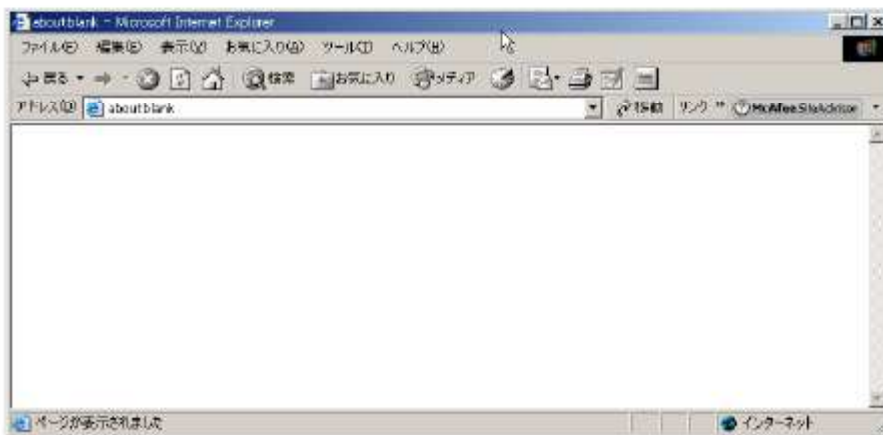
簡易合併参照設定 合併先と合併元の関連付け：リスト出力



簡易合併参照設定 簡易合併参照設定後のプログラムの起動



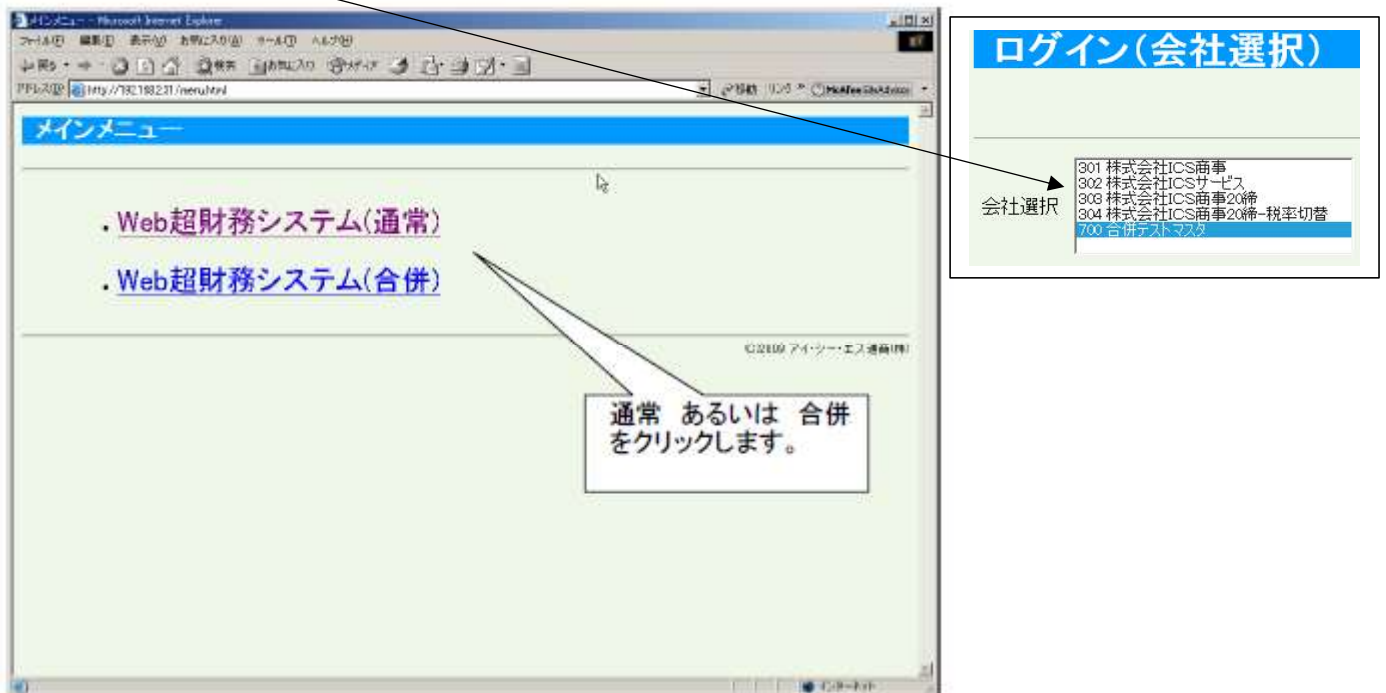
インターネットエクスプローラを起動します。



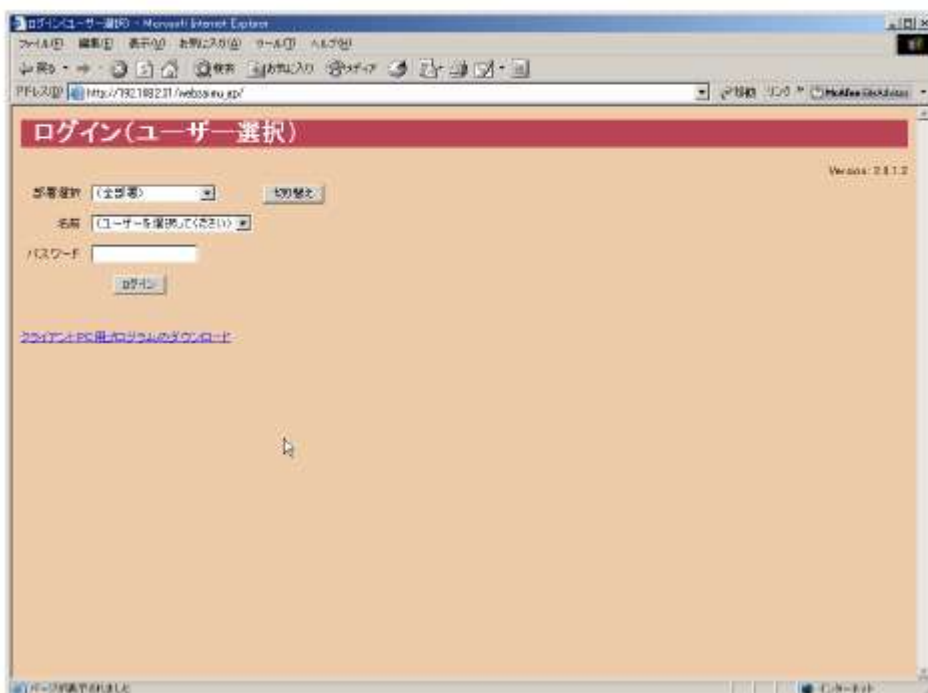
お気に入りに登録されている合併用のメニューを選択いただくか

アドレスに [http://\(御社サーバーIPアドレスあるいはコンピュータ名\)/menu.html](http://(御社サーバーIPアドレスあるいはコンピュータ名)/menu.html)  
と入力します。

(通常) の複数ある会社マスターを (合併) の合併マスターへ合併しています



簡易合併参照設定 簡易合併処理ログイン (ユーザー選択)



通常処理は、ブルー系の背景色です。

合併処理は、赤系統の背景色となります。

ログイン後の処理は通常処理と同様ですが、入力処理メニューは表示されません。